

走り来る人々 (1958)

SOME CAME RUNNING

メディア 映画

ジャンル ドラマ ロマン스

製作国 アメリカ

色彩 Color

時間 136分

初公開日 1959/03/27

公開情報 MGM

【解説】

シナトラがあまり悩める作家に見えない弱点はあるが、中西部アメリカの保守的な価値観の点描の中、彼をはじめとするハグレ者たちのいたたまれなさがよく伝わる、真実味に溢れた佳作である。主人公デヴィッドは軍役を経て故郷インディアナの小さな町パークマンに舞い戻った。数冊の小説を著した作家だが断筆中で、酔った彼に口説かれてシカゴから同行したのが安酒場の女ジニー。デヴィッドには事情が呑み込めないが、彼女のヒモもついでに着いてきて彼を脅す。彼は兄フランク（ケネディ）の宝石店の目の前のホテルに投宿し、兄が理事をする銀行とはライバルの銀行に有り金一切を預ける。両親を早くに亡くしグレたデヴィッドは兄に施設に預けられ、それで彼と、特にその妻を目の敵にしている、作品のモデルにもした。義姉は世間体もあって彼を迎え入れる素振りをするが、見え透いていた。姪のドーンは彼の奔放さに興味を持つ。デヴィッドは酒場で知り合った賭博師のパーマ（マーティン）の相棒として毎夜カードに興じながらも、遠縁のフレンチ教授の娘で教師のグエンに心惹かれ酒を断とうとする。彼のファンである彼女は懸命に彼を励まし、やがてそれは愛に変わるが、彼の汚れた部分をどうしても受け入れられず、最後には彼を拒絶する。一方で父の浮気現場を見て自棄になったドーンは近郊の都会テレホートのクラブで男と一緒にの所を叔父と再会。彼は姪を送り帰すと、今は工場勤めのジニーとの結婚を決意するが、彼女は、それを知って逆上したヒモに撃たれたデヴィッドを助けようとして死ぬ。圧巻なのはこの、町の百年祭の賑わいを背景にした演出で身につけたグラマラスな表現を注ぎ込んだのミネリの力業である。役者で傑出しているのは無教養だが愛すべきジニーのマクレーン。グエンのデヴィッドの愛を確認に、彼女の学校に押しかける場面は、涙なくしては見られない素晴らしさだ。

【クレジット】

監督	ヴィンセント・ミネリ	Vincente Minnelli	
製作	ソル・C・シーゲル	Sol C. Siegel	
原作	ジェームズ・ジョーンズ	James Jones	
脚本	ジョン・パトリック	John Patrick	
	アーサー・シークマン	Arthur Sheekman	
撮影	ウィリアム・H・ダニエルズ	William H. Daniels	
作詞	サミー・カーン	Sammy Cahn	
作曲	ジミー・ヴァン・ヒューゼン	Jimmy Van Heusen	
音楽	エルマー・バーンスタイン	Elmer Bernstein	
出演	シャーリー・マクレーン	Shirley MacLaine	ジニー・ムーアヘッド
	フランク・シナトラ	Frank Sinatra	デイヴ・ハーシュ
	ディーン・マーティン	Dean Martin	バマ・ディラート
	アーサー・ケネディ	Arthur Kennedy	フランク・ハーシュ
	マーサ・ハイヤー	Martha Hyer	グエン・フレンチ

allcinema

ナンシー・ゲイツ	Nancy Gates	エディス・バークレイ
レオラ・ダナ	Leora Dana	アグネス・ハーシュ
ベティ・ルー・ケイム	Betty Lou Keim	ドーン・ハーシュ
ラリー・ゲイツ	Larry Gates	フレンチ教授
スティーヴ・ペック	Steve Peck	レイモンド・ランチャック
コニー・ギルクリスト	Connie Gilchrist	ジェーン・バークレイ